平成３０年度　学校法人玉名白梅学園　決算監査報告書

1. 日時　　　令和元年５月２１日（火）午前１０時から
2. 場所　　　玉名女子高　応接室
3. 監査対象　平成３０年度決算に係る事項
4. 監査期間　平成３０年４月～平成３１年３月
5. 監査内容　貸借対照表、収支計算書（資金収支計算書、事業活動収支計算書）、備品台

　　　　　　　帳、総勘定元帳、理事会議事録、会計伝票、授業料徴収台帳・日計表、給与台帳、玉名白梅学園諸規定

1. 監査方法　学園側より、森塚理事長、櫻井副理事長、羽山事務長、会計担当者から概

　　　　　要説明を受け、監事から聞き取り、決算書類の監査を行った。

1. 監査結果　帳票・関係書類及び証票類など、正確、明瞭に記録されており、また現金、

預金管理についても正確であることが認められた。

1. 所感　　　平成３０年度は寮の改修をはじめ体育館の耐震補強、補修のほか、懸案で

　　　　あった中校舎の空調の更新も行われ、おおむね三分の二の更新が終了した。

　　　　また、東校舎のパソコンも入れ替えることができた。引き続いて着実な施設

　　　　整備を進めてほしい。熊本地震の影響からも順調に回復しているようだ。全

　　　　体の財政面でも国や熊本県からの補助金等もあり、経費の支出も的確に執行

　　　　されており、堅調な経営が行われている。

　　　　　決算監査報告の直接の対象事項ではないが、あえて触れておきたい事項が

二つある。

一つは平成３１年度の新規入学生が１７９人に上ったことだ。３０年度の

２１９人と比べると減少したものの、全体としては健闘していると考えていいように思う。この高い数字は全学挙げた取り組みが功を奏いているのではないか。引き続き強く取り組んでほしい。

　　もう一つは、学校の体制が大きく変わったことだ。小篠理事長、森塚校長、

　　那須事務長が退任し、森塚理事長、鈴木田校長、羽山事務長を迎えることになった。小篠理事長は理事へ、森塚校長は理事長へ、那須事務長は監事へとそれぞれご就任いただき、引き続いて学校運営に協力してもらうことになった。心から感謝申し上げたい。また新任の方々には創意工夫を凝らして玉名女子高が一層輝く学校となるよう努めていただきたい。

　　　　　　　　　　　　　　　令和元年５月２４日

　　　　　　　　　　　　　　　　　　高峰　武

　　　　　　　　　　　　　　　　　　村上　弘